

令和4年度

フォスタリングチェンジ・プログラム 参加者の募集について

山口県では、子どもへのより良い養育や、養育者自身へのケアを目指すために、『フォスタリングチェンジ・プログラム』を実施します。

「子どもの行動にどう対応していいのかわからない」「子どもとの関係づくりが難しい」「子どもの宿題やしつけで困っている」「他の里親の話を聞いてみたい」こうした悩みをお持ちの方は、ぜひ参加ください。

日時

令和4年9月9日～12月2日(全12回)

毎週金曜日 10時～13時

※9月23日は祝日のため、休みです

場所

社会福祉法人 防府海北園 地域交流スペース真（防府市大字高井686番地）

参加条件

次の①～③を全て満たす方

- ①里親、ファミリーホーム・児童養護施設・乳児院職員
- ②幼児～小学校6年生までの子ども（里子または実子）を養育
- ③全セッションに参加可能

研修
スタッフ

- ①児童養護施設 ライクホームはるか
里親支援専門相談員 新谷 敏郎 さん
- ②児童養護施設 共楽養育園
里親支援専門相談員 永吉 敦子 さん
- ③児童養護施設 山口育児院
里親支援専門相談員 中内 圭一 さん
- ④里親養育サポートセンターれりーふ
センター長 小林 有
- ⑤里親養育サポートセンターれりーふ
相談支援員 藤井 有紀



定員

8名（応募多数の場合は、フォスタリングチェンジ実施ガイドラインをもとに選考し、決定します）

申込期限

令和4年5月31日（火）

締切後も定員に空きがある場合は、令和4年8月5日（金）までは受け付けますので、お問合せください。

◆フォスタリングチェンジ・プログラムとは◆

家庭養育の先進的な取り組みがなされている英国において、1999年に始められた里親支援プログラムです。英国では、プログラム実施後に、子どもと里親の関係性、子どもの問題行動、情緒的徴候について大きな改善がみられました。

プログラムでは、子どもとよい関係を作り、問題行動に対応するための具体的な方法を、グループワークを中心に、参加者の経験を共有しながら、週1回3時間、全12回をかけて学びます。

これまでのセッションの様子



受講者の声

- 子どもとの関係がスムーズになり負担が減った
- 対応の引き出しが増えて心に余裕が持てるようになった
- 子どもを肯定的な視点で見守るようになった
- 子どもの行動の内にある心情にも目を向けて考えられるようになった
- 子どもが沢山、話しかけてくるようになった
- みんな里親としての悩みや苦勞を持っていることがわかり、他の方の話を聞くことで心にゆとりができた
- 子どもと関わる際、ひと呼吸して、子どもを褒めたり、認めたりすることに気をつけるようになった
- 以前は困った行動に慌てたり、すぐ叱ることが多かったが、落ち着いて対処できるようになった



プログラムの流れ

○家庭訪問

プログラムの内容説明や、事前アンケートの依頼を行います（6月～9月）

○本セッション

- ①グループを創設し、子どもの行動を理解し記録する（9月9日）
- ②行動への影響：先行する出来事および結果（9月16日）
- ③効果的に褒める（9月30日）
- ④肯定的な注目（10月7日）
- ⑤コミュニケーション・スキルを使い、子どもが自分の感情を調整できるように支援する（10月14日）
- ⑥子どもの学習を支援する（10月21日）
- ⑦ご褒美およびご褒美表（10月28日）
- ⑧指示を与えることおよび選択的無視（11月4日）
- ⑨ポジティブ・ディシプリン（肯定的なしつけ）および限界の設定（11月11日）
- ⑩タイムアウトおよび問題解決方略（11月18日）
- ⑪エンディングおよび総括（11月25日）
- ⑫肯定的変化を認め、自分自身をケアする（12月2日）

○アフターセッション

本セッション終了後、3ヶ月後と6ヶ月後に振り返りのセッションを行います。
会場と曜日、時間帯は本セッション同じです。

アフターセッション01（3月）

アフターセッション02（6月）

お申込み・お問い合わせ先

- 郵送、FAXまたはメールにてお申し込みください。
- 項目についてハガキやメールなどに記入し、送付いただいても結構です。
- 記入された内容は、当プログラムの実施の目的のみに使用します。

郵送 〒747-0064 防府市大字高井686番地

里親養育サポートセンターれりーふ 宛

TEL 0835-28-8776

FAX 0835-22-2271

E-mail foster@relief-kaihoku.com



申込書	ご住所	〒 -		
	お名前		電話番号	